

膵臓がん生存期間が倍増する新たな治療薬登場

治療が難しいとされてきた膵臓がんで、米新興企業レボリューション・メディシNZは、開発中の経口治療薬「ダラクソンラシブ」の臨床試験（治験）結果を米科学誌に発表しました。飲んだグループの生存期間が、既存の化学療法を受けたグループに比べ、ほぼ倍になり、死亡リスクを60%減。患者に新たな時代を切り開くものだとするコメントを発表しました。